

資料 1 - 2

科学技術・学術審議会

人材委員会（第92回）

令和3年10月21日

# 次世代研究者挑戦的研究プログラムの 採択状況について



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,

SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 我が国の博士後期課程学生支援の概況と目標

## 1. 概況

博士後期課程在学者数：75,306人（令和3年度速報値）

（出典：学校基本調査）

①修士課程からの進学者  
約30,000人（推計）

②社会人学生・留学生  
約45,000人（推計）

計15,000人

既に年180万円以上の公費等の支援を受給している者  
約7,500人（推計）

- ▶ 特別研究員(DC)  
4,196人（生活費240万円/年、研究費も支援）  
など

新たな博士後期課程学生支援の対象者  
約7,800人（積算）

- ▶ 創発的研究の推進（令和2年度第3次補正～）
  - ・創発的研究を支える博士課程学生等へのRA支援充実  
約 800人
  - ・次世代研究者挑戦的研究プログラム  
約6,000人
- ▶ 大学フェローシップ創設事業（令和3年度～）  
約1,000人

※①及び②は、博士後期課程学生の入学者における社会人数及び留学生数を在学者数で換算した推計値で、一部重複もあり得る。

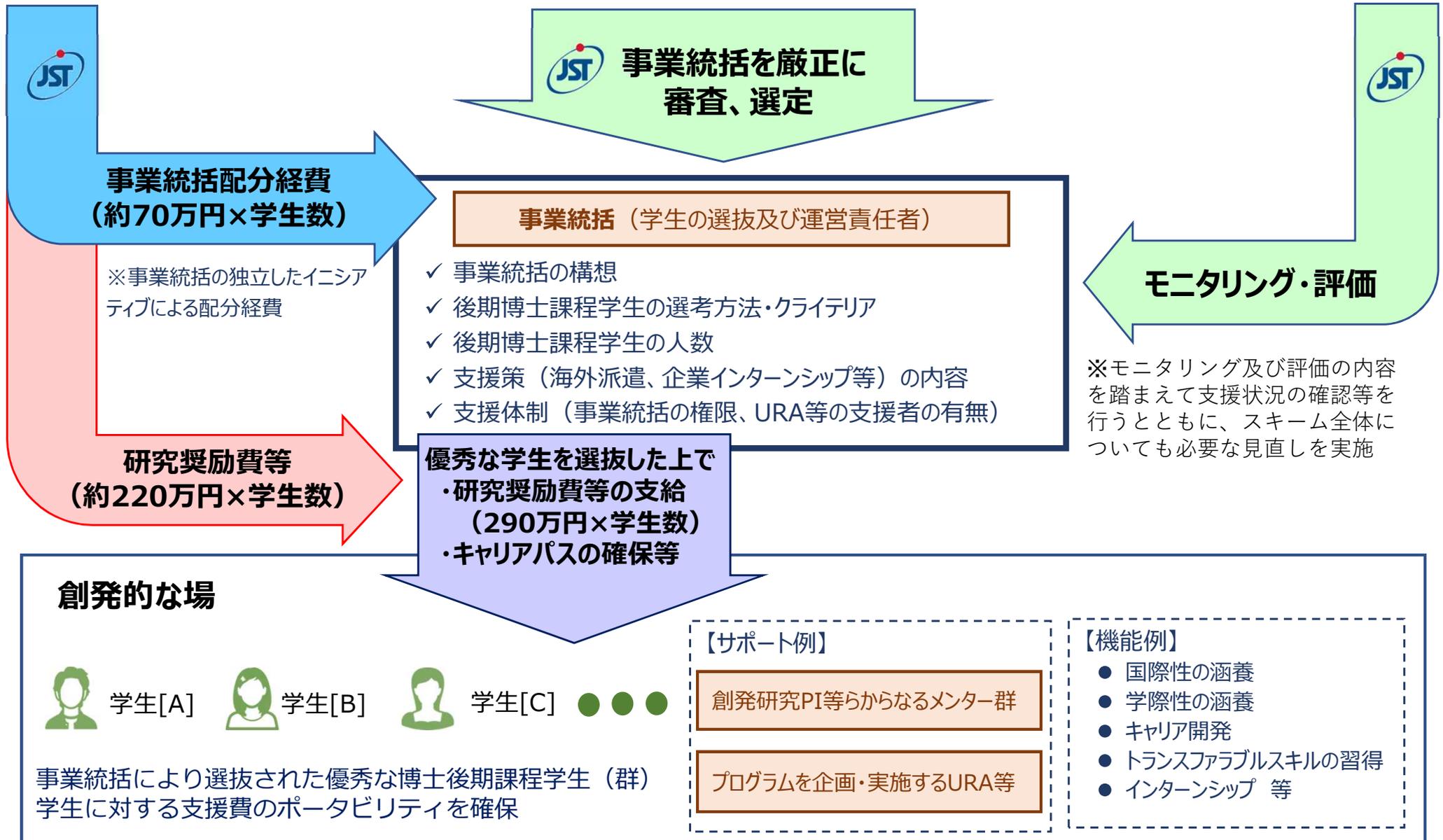
## 2. 目標

- 第5期科学技術基本計画：博士後期課程在籍者の2割程度（=約15,000人）が生活費相当額程度を受給できることを目指す
- 第6期科学技術・イノベーション基本計画：2025年度までに、生活費相当額を受給する博士後期課程学生を従来（※約1割）の3倍（=約22,500人）に増加

# 次世代研究者挑戦的研究プログラム

## 【事業の目的】

- 博士後期課程学生による既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な研究を支援
- 生活費相当額を支給することで学生が研究に専念できる環境を整備（国費により研究奨励費等及び事業統括配分経費を支給）
- 優秀な博士後期課程学生を多様なキャリアパスで活躍できる博士人材へと導く



「次世代研究者挑戦的研究プログラム」採択結果（A日程）（令和3年9月7日）

	事業統括氏名	所属機関	支援規模(予定)		事業統括氏名	所属機関	支援規模(予定)
1	石森浩一郎	北海道大学	467	21	安倍学	広島大学	199
2	山口昌弘	東北大学	511	22	堤宏守	山口大学	36
3	加藤光保	筑波大学	351	23	安友康二	徳島大学	24
4	中山俊憲	千葉大学	150	24	君塚信夫	九州大学	349
5	米田仁紀	電気通信大学	24	25	水光正仁	宮崎大学	10
6	大越慎一	東京大学	600	26	高島和希	熊本大学	60
7	礮村宜和	東京医科歯科大学	120	27	山口政之	北陸先端科学技術大学院大学	30
8	神田学	東京工業大学	187	28	飯田元	奈良先端科学技術大学院大学	5
9	五味高志	東京農工大学	120	29	青野重利	総合研究大学院大学	10
10	本田明治	新潟大学	50	30	澤本和延	名古屋市立大学	20
11	中村慎一	金沢大学	120	31	重松孝昌	大阪市立大学／大阪府立大学	70
12	西田継	山梨大学	11	32	黄晋二	青山学院大学	15
13	藤巻朗	名古屋大学／岐阜大学	320	33	武林亨	慶應義塾大学	263
14	井門康司	名古屋工業大学	12	34	田口亮	東京都市大学	10
15	金子聡	三重大学	16	35	志和地弘信	東京農業大学	15
16	江上雅彦	京都大学	515	36	林良雄	東京薬科大学	18
17	吉本昌広	京都工芸繊維大学	18	37	笠原博徳	早稲田大学	180
18	森井英一	大阪大学	420	38	村嶋貴之	甲南大学	5
19	遊佐陽一	奈良女子大学	14	39	塚越一彦	同志社大学	30
20	那須保友	岡山大学	30	40	徳田昭雄	立命館大学	45
						計	5,450

(注1) 各事業統括が学生選抜等を実施中。順次支援開始。

(注2) 並行して、9月末を申請期限とするB日程公募を実施。JSTにおいて審査中。



参考

科学技術振興機構報 第1519号

令和3年9月3日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel：03-5214-8404（広報課）  
URL <https://www.jst.go.jp>

## 次世代研究者挑戦的研究プログラムにおける 新規プロジェクトの決定について

JST（理事長 濱口 道成）は、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」における新規プロジェクト40件を決定しました（別紙1）。

本事業は、博士後期課程の学生が研究に専念できる環境を整備し、卓越した博士人材の育成や輩出を目指す事業です。博士後期課程の学生は、日本の科学技術・イノベーションの将来を担う存在ですが、近年、「博士課程に進学すると生活の経済的な見通しが立たない」「博士課程修了後の就職が心配だ」といった理由から、修士課程から博士後期課程への進学者数や進学率が減少傾向にあり、危機的な状況が指摘されています。そうした状況を踏まえ、本事業では、既存の枠組みを越えて優秀な博士後期課程の学生の選抜などを行う事業統括を選定し、当該事業統括により選抜された学生に対する生活費相当額および研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツの提供をはじめとする多様な支援を行います（参考）。

今回の募集は、A日程として令和3年6月11日（金）から7月15日（木）まで行い、53件の応募がありました。募集締め切り後、外部専門家で構成された委員会による審査を実施し（別紙2）、その結果を基に40件の支援プロジェクトを決定しました。

なお、B日程の申請締め切りは、令和3年9月30日（木）正午【厳守】です。

詳細については、下記ホームページをご覧ください。

ホームページURL：<https://www.jst.go.jp/jisedai/index.html>

### <添付資料>

別紙1：「次世代研究者挑戦的研究プログラム」採択プロジェクト・事業統括一覧

別紙2：「次世代研究者挑戦的研究プログラム」委員会 委員一覧

参 考：「次世代研究者挑戦的研究プログラム」募集概要

**<お問い合わせ先>**

科学技術振興機構 科学技術イノベーション人材育成部  
次世代研究者挑戦的研究プログラム推進室

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

中村 幹（ナカムラ ツヨシ）

E-mail : [jisedai-application@jst.go.jp](mailto:jisedai-application@jst.go.jp)

※お問い合わせは電子メールでお願いします。

## 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」採択プロジェクト・事業統括一覧

(今年度支援予定人数順)

大学名	事業統括	プロジェクト名	今年度支援予定人数
東京大学	大越 慎一	グリーントランスフォーメーション（GX）を先導する高度人材育成	600
京都大学	江上 雅彦	京都大学大学院教育支援機構プログラム	515
東北大学	山口 昌弘	東北大学高等大学院博士後期課程学生挑戦的研究支援プロジェクト	511
北海道大学	石森 浩一郎	Society 5.0を牽引するDX博士人材育成のための研究支援プロジェクト	467
大阪大学	森井 英一	学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト	420
筑波大学	加藤 光保	学問分野の壁を超えて多様な人材と共創できるトランスボーダー型価値創造人材育成プロジェクト	351
九州大学	君塚 信夫	未来を拓く博士人材育成のためのオープンプラットフォーム型教育システムの構築	349
名古屋大学／ 岐阜大学	藤巻 朗／ 植松 美彦	東海国立大学機構融合フロンティア次世代研究事業	320
慶應義塾大学	武林 亨	未来社会のグランドデザインを描く博士人材の育成	263
広島大学	安倍 学	広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム	199
東京工業大学	神田 学	殻を破るぞ！越境型理工系博士人材育成—総合知の創造と社会変革に貢献する—	187
早稲田大学	笠原 博徳	早稲田オープン・イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム	180
千葉大学	中山 俊憲	全方位イノベーション創発博士人材養成プロジェクト	150
金沢大学	中村 慎一	突破力をもって分野の壁を破壊し、新たな価値を創造する次世代精鋭人材創発プロジェクト	120

東京医科歯科大学	磯村 宜和	TMDU卓越大学院生の挑戦的研究支援プロジェクト	120
東京農工大学	五味 高志	FLOURISHフェローシップ事業	120
大阪市立大学 ／大阪府立大学	重松 孝昌／ 河北 哲郎	リゾーム型研究人材育成プログラム	70
熊本大学	高島 和希	Well-being 社会を先導する異分野横断型博士人材育成プログラム	60
新潟大学	本田 明治	未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト	50
立命館大学	徳田 昭雄	立命館先進研究アカデミー（RARA: Ritsumeikan Advanced Research Academy）次世代研究者育成プログラム	45
山口大学	堤 宏守	“シン・文殊グループ”を核とする異分野融合研究実践型博士後期課程学生育成プロジェクト	36
岡山大学	那須 保友	岡山大学次世代研究者挑戦的研究事業（OUフェローシップタイプB）	30
同志社大学	塚越 一彦	同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト	30
北陸先端科学技術大学院大学	山口 政之	未来創造イノベーション研究者支援プログラム	30
電気通信大学	米田 仁紀	独自ネットワーク形成を行う、開発主導型博士学生研究・教育支援プログラム	24
徳島大学	安友 康二	研究クラスターを核とした学際的イノベーション人材の育成－徳島大学うずしおプロジェクト－	24
名古屋市立大学	澤本 和延	グローバル未来都市共創に資する次世代研究者エンパワメントプログラム	20
京都工芸繊維大学	吉本 昌広	京都産学共創 異分野融合人材育成フェローシッププログラム	18

東京薬科大学	林 良雄	未来医療創造人育成プロジェクト 『BU T T O B E ぶつとべ』～Beef Up T oyaku Talents to go B E y o n d t h e b o r d e r	18
三重大学	金子 聡	環境循環型社会に資する地域と連携した若手研究者育成支援	16
青山学院大学	黄 晋二	AGUフューチャーイーグルプロジェクト (AGU Future Eagle Project)	15
東京農業大学	志和地 弘信	グローバルで食料生産向上に挑戦する高度人材養成包括的プロジェクト	15
奈良女子大学	遊佐 陽一	奈良女子大学博士後期課程学生支援 SGC+(Shattering the glass ceiling and beyond) プロジェクト	14
名古屋工業大学	井門 康司	複数指導教員体制による新しい研究分野を開拓する次世代研究者育成プロジェクト	12
山梨大学	西田 継	VUCA時代対応型博士人材育成プロジェクト	11
総合研究大学院大学	青野 重利	「SOKENDAI 特別研究員(挑戦型)」制度による次世代研究者の支援・育成の推進	10
東京都市大学	田口 亮	アジア大洋州地域の発展をリードする次世代のグローバル研究者育成プログラム	10
宮崎大学	水光 正仁	宮崎大学の異分野融合性の高さを活用した次世代研究者支援プロジェクト	10
甲南大学	村嶋 貴之	地域連携プラットフォームを活用する産学・官学連携インターンシップによるトランスレーショナル人材の育成	5
奈良先端科学技術大学院大学	飯田 元	「先端科学技術融合分野におけるイノベーター博士人材支援プロジェクト (NAIST Touch Stone)」	5
合計			5,450

## 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」委員会 委員一覧

役割	氏名	所属・役職
委員長	安浦 寛人	九州大学 名誉教授
委員	伊藤 耕三	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授
委員	勝 悦子	明治大学 政治経済学部 教授
委員	神成 文彦	慶應義塾大学 理工学部 教授
委員	工藤 貴子	群馬大学大学院 理工学府 教授
委員	小石 龍太	第一三共RDノバーレ株式会社 トランスレーショナル研究部 主席
委員	小泉 周	自然科学研究機構 特任教授
委員	城山 英明	東京大学 大学院法学政治学研究科 教授
委員	杉山 直	名古屋大学 副総長
委員	仲 真紀子	立命館大学 O I C総合研究機構 特別招聘研究教員（教授）
委員	長谷山 美紀	北海道大学 副学長／大学院情報科学研究院 研究院長

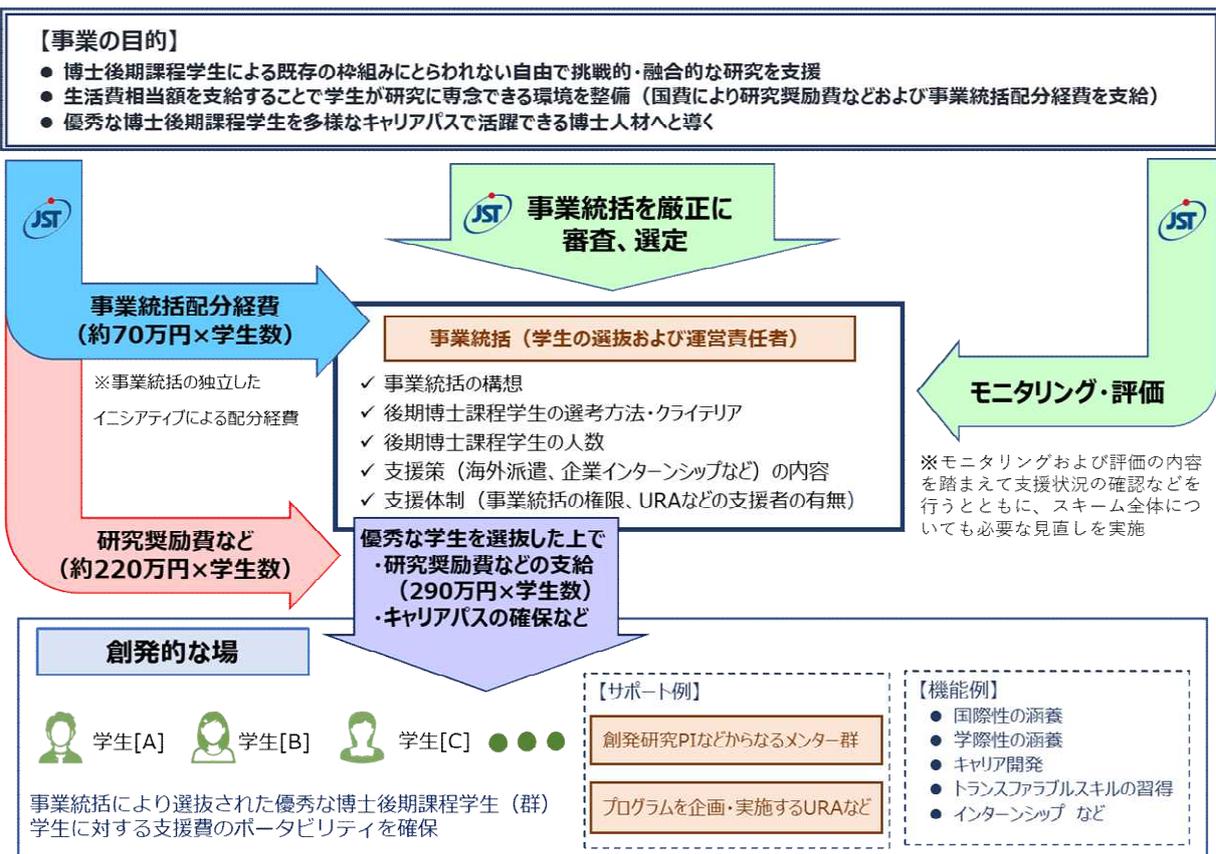
## 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」募集概要

### 1. 事業の趣旨

博士後期課程の学生は、日本の科学技術・イノベーションの将来を担う存在ですが、近年、「博士課程に進学すると生活の経済的な見通しが立たない」「博士課程修了後の就職が心配だ」といった理由から、修士課程から博士後期課程への進学者数や進学率に減少傾向が見られ、危機的な状況が指摘されています。優秀な志ある博士後期課程の学生への経済的な支援を抜本的に強化し、博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスを整備するなど、日本の博士課程教育システムの改革が強く求められています。

本事業では、このような状況を打破するため、新たに、既存の枠組みを越えて選抜された優秀な博士後期課程の学生に対して生活費相当額および研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツなどの支援を提供します。

### 次世代研究者挑戦的研究プログラム



## 2. 事業の概要

博士後期課程の学生への支援構想である「博士後期課程学生支援プロジェクト」を提案し、その提案を各大学で責任者として実施する事業統括を募集します。

当該事業統括により選抜された優秀な博士後期課程の学生には、所属元の変更などのポータビリティを担保した上で自身の自由で挑戦的・融合的な研究に専念できる環境を提供します。併せて当該学生に対しては、生活費相当額および研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツ（国際性や学際性の養成、トランスファラブルスキルの習得<sup>注</sup>）、インターンシップなど）をはじめとするさまざまな支援が提供されます。

なお、これらの取り組みを円滑に実施するため、事業統括は、自身の業務遂行を支える運営チームを編成することとします。

注) トランスファラブルスキル

社会人に求められる能力のうち、特に転用・応用可能で、分野や業態を問わず活用するために必要となる汎用性の高いものを指す。

## 3. 事業の特徴

本事業は、修士課程から博士後期課程への進学者数・進学率の減少の背景として指摘される、経済面やキャリアパスの不安などを解消するため、生活費相当額および研究費支給やキャリア開発・育成支援などを行うのが特徴です。

本事業を通じ、①優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を抜本的に強化し、②博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスを整備し、③それらに資する日本の博士課程教育システム改革の推進を目指します。

## 4. 実施経費・実施期間

### (1) 実施経費

博士後期課程学生1人当たりの支給額は290万円程度/年  
(生活費相当額+研究費)

※学生1人あたり下限を220万円とし、事業統括の裁量により変動

### (2) 実施期間

最大5年度（4年制の場合は最大6年度）

### (3) 募集期間

A日程

令和3年6月11日（金）から7月15日（木）正午

B日程

令和3年6月11日（金）から9月30日（木）正午